岐阜縣繁新部長 西尾 忠雄剛奈川縣寶敷部長

長野郷野家郷部長 荒木 滝夫く決定午後三岸建設された

東京電話』地方長官の異動に伴

任岐阜縣繁聚邮長 町村 金吾 在共產黨被逐渐長, 鐵聯 第三

異動發表さる

を避せられた

は二十二日附を以て左の如く辭令中であつた南次郎、本正祭兩大將

はれたものと見られ、他の三名は 機能が凝縮を持たぬやうでは不便

地方部長級

であるといふ児地から欧家的に行

船があつたが、管那路照削に既然については政府部内にもとかくの

對策に資すべきが適當となし、また軍部當局におい院方面に於ては、明かにすべきは明かにして今後のする興奮も漸次醒め、人心の冷靜に歸するを共に兩ばるべと避らる選挙を前とする漢分が認かつたが、同事件に對本能については常教院とも認知な更られに譬るるを避ける總統があり

このるがこの経験に常然問題となるべきはコ・二大事性に関するものである。【東京電話】特別論語もが目の後に迫り政府も政策も取ら動職情報に収念し

眞摯な質問應答豫想

明かにすべきは明かにし今後に資せよ

特別議會に登場の機運

 朝における歌歌歌に於て行はれるものと殿はれる、尤も春内壁想は那般の会は一・二六事件について極めて真摯なる質問と應答は二・二六事件について極めて真摯なる質問と應答 鋭ともいふべきものにつき本館能にて都常館を繋末しこれを報告するもの館における韓語館に於て行はれるものと思ばれる、尤も春内陸趙は耶你の

六事件に關

内務關係者

の内が開催者の懲戒処分は廿一日 【原景電話】二・二大事例に對す 懲戒處分公表 總督首相訪問

日午後三時官邸に版田資相を訪問

十四、五日庭館低するについて

接脚をかね時局間壁について重

東京電話】宇垣總督は入京以來

した言語内意を選したので歐田監 農用を通じ婦木器裁を物選に推断

「東京電話」政友館は政府が島田

木綿挺の拠選は結局質期するもの向を有してゐるやうであるから鈴 府の申出を受諾してもよいとの意

との意向が強く一方鈴木綿数も吹

机にふる雪 (1)

ていひたすら念佛に 以来、配所のあばらやに。佛い

心参じてゐた。

四月二十日職

泣かせてえ

越路

村

化

畵 作 (102)

結局實現せん 鈴木總裁勅選

牛島道路取締規則

八體成案を得

廾四五日頃東京發

東京電話上宇垣朝鮮總置性二十二

日東京震節師の豫定であるたので深る二十四日または二十五 中央政府との打合せも大艦終了

休職等院總監 でである。

修へ更に松野戦事長は廿一日午後

置相官邸に島田監相を訪り臨る協一今後政治的、記憶的話感設に適

・ 1 は重量無としてとかくの ・ 物選に 推放したいと いってを は ・ 物選に 推放したいと いってを は ・ も取するところからこの際 様 ・ でもあるから ・ でもあるから この際は豪国に勅選を受けたがしてある。とでもあるからしていることでもあるからり致友置としては現内圏に関係 一館事及警託に隠する人事異動は) 検心と加へる必要がありての成 来統合された案に對しても担當事 十一日左の如く避命を見た は注目されてゐる、同日之が委 して之を鑑賞して行くためにはの

|従いて來た新鬼子たちであつたo る途々の間に、語信の簡を慕つて が京都からこの越後へ送られて来での三人の弟子たちは、皆、笛宮 信と知りある機能を得て、みな語 か松住の匪臭などといふ人々も沓一物なのである。 大町の姫道とか、和田の観性と

の が が が が の といつしよになつて、 画版の町 を やうど今日は、相違子の生質 一房といつしょになっ

数をすて、念佛門の歸依者になつ | は、未等があつて、 彼のあゆむ所には、必ず彼の自一居たが、師の敬順は

仰が何かの形でこぼれて行った。 それは、無心な風が、花粉を撒い

> しまつたので、 に従いて、そのまる

郎子緒 耶子

新疆 恶代丸

花郎 子一郎

でゐた三名の第十七

、被順房に恐ん 、数順房に恐ん

渡が元ゐた越町宮崎の監明院に

設の高配で派 なる母胎を作つてゆくやらに、善 → 一般を作つてゆくやらに、語 と、後を辿つて来た。 土のある所には必ず来の花と(近にでも膨まれたのではないか)

も、心服して、軽折の厳範にとよってゐる師の有標を見ると、彼等

そして國府へ來て、遊信につか

ふ事があつた。

納骨の次第までも遊言してあつ た、しかも石碑といふのが古稿 たので、一切が遺言通り運ば の観として子撒のために自ら説 一帳面屋だけに理술英端は勿論 護男、有名な

4利用せよとのことだか、まさ 極東情勢 に男の面目脳如たるものがある

こと、なつた、この新道路取締場。る建純の根本的整理動類に音手す。鑑案の作成を無く方針であるが、

年世界がに於て中央及地方を通す

数正準備委員館を開催して之が具

【東京電話】馬場数組は昭和十二一べく、特鵬部階終了後速かに視響

委員幹事發令さる

英外務次官

外形式館 クランボーン郷は甘一 「ロンドン廿一日同盟」 イギリ

致の

支那における日支棚係につ

春の浪曲豪華陣

存

Ł

待

0

項 **圖**紫

田織 見 ・ 世 ・ 戦

子也郎 郎

設計

花^数青楠 待ホ 嫁^{*} 葉 _ハ つィ

公

夫

てホ

84

避害

H 形 轺--

爛の

分漫春

齊

雪之丞變化 (紹の(20g)) 海 田 郎 繁 章

思音郎

近

の悪情という者が、こゝを迎っさ、こか、七人の家族になってゐたの「こんど、都の流人で、法然門下」は善質をかしらにして、いつのま一、こんど、都の流人で、法然門下」は善質をかしらにして、いつのま説をいふ語の世間で、おそうしく かうして、こゝの配所も、今で説をいふ語の世間で、おそうしく

の名は、顔き及んでゐる。ことを (さうか、かねて、法然房と当信

職をとせて

※ 水戸 黄門漫遊記 (中国公山の代記記)

海 華 軒 メ 友野 狐 三 次 (が開催)

通つたら、思ひ上つた念佛門の房一つたらとう、白いものが落ちてき

T P

育津の小機(wxm) 京山幸は

新野幸哉氏 | 同面外交部長同上 | ばしらをくぢいてくれよう)

るたものである。

そして、警信の二行が、百貫者

手ぐすね引いて、符ちかまへて

ながら、彼の強づた信念を、事々になく繰りがおそいではないがはとなると、立ちあらは「それにしても、数配機と生音房一ながら、彼の強づた信念を、事々になく繰りがおそいではないがはとなる。 をかしく悪い どのは、何となされた事か、いつといる所へかとした。 立ちあらは 「ことしゅるほう」。 顔とあつ

こんなことは外に出さず、脳一に避いて関かせ、胆夫能失の。風影 ると、和何は、善信の興の前にひ して外から篩つて来たらしい数限 物法がした。

ロシアで農民の政府支持工作か。まだ年ばえもお若いのに) (世には、かくるお人もあるもの でどなたか、急いで、水をくご 進足ではない、生言語

母父本 召

たった から のでは、 のでは、 のでは、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 のでは、 のでは 源處 天光軒 滿

本富普羅林式智祉 る満月繁演

勅選詮衡 を急ぐ

破正法律系常國議會提出の件 本年中に公布明年度より實施する。 大正十二年法律第五十二號中 近く局談に贈り報談報に組附の上

たがこのほど漸く成果を得たので

する傾前梁のみ投博、他は不採 たがこのほど艦く総気を撃たつで なって 深海大田 深道ない これに元て 入るるが本所では 高数 化環境管理 に関す これに元で 入るるが本所では 高数が、 第十八回翼路旁側路管に 名い

一部純数を常用酒の寄附によつて

の温威にもこれに弾する。下海地計造令の適用に範圍外

島、面で一種に続制する 一、道路費の資擔を圏、道、 長に移管

都守、島司の遊路管理

稅制改正準備委員會

議會後開催

高産業の鑑趣により交通量は年 則は全文六十條から成ってゐるが

明年から實施段取

鈴木總裁はじめ四氏は內定

特別議會をまへに

腱の間に迫つたので恒例によつて一上四名のほか大體二名內外を左の を対明されつたので前列によって「上型もつまかでもことなり上とはつ」任意域需要数別後 【東京成選】 政府は密那議館も目の、如く、前して欧府としては以一山山艦養務郡長山内、鑑喜「任本/府事/務官」、第 制選の補充を行ふべく遺田首相を 中心として領重に影倒を進めてあ

である。しかして鈴木高級の報道 相小脈真、削法制局長官大張八郎 向 相小脈真、削法制局長官大張八郎 向 れは既定館總裁的木恵三郎、削法 とも三名丘は今後に残しておく意 且下大権内定してゐる關系。なつてゐるが、九名の総政中心く 向を有してゐる模様である 一名は「探光よりこれをとること」 (大阪)地方事務官 沖野 街」上四名のほか大體一名內外を左の 宮崎腐勢紫那長 新地 焼食 一名は脈界よりこれをとることと

任官網際教育部長

任北海道總長官(一等) が整官房外事課長を命

地方長官異動發

牛島躍進の裏に

の在鮮五年

本府辭令 訓

吉田陶賞局長官「保予且級地数 尼玉正金頭取、林安茂、池區等 好,村田省越、中川台灣。經 今井田屬館政務。經、未計與电 報代表、出讀可此來大使、田中 相代表、出讀可此來大使、田中 相手計28號、遠樂到海洲國。悉 取主計28號、遠樂到海洲國。悉 歷長、和仁則大審源社、據田元 、

任本府警務局長 (1等) 菅相川 勝六 以つて正式総合された繁保局保安課長、内 既型限総決定の通り二

既報開脳決定の通り二十二 る棚内相試練の地方長官大異動は

一新してその行能打開を聞らんとす 【東京電話】地方国海の人事を願

て二・二六事件の政任を動り待命 豫備役被仰付 柳軍大選州

世二日次の如く誰る

置子距離與 「東京記話」 維持関軍造兵職長官 植村中將待命

に同僚が和氣面々として働き、何のを中間の総質所内は組督、総監の して無質し

長の

メキシコ上院に提出 感懷 でそつとやるべきことだ、ニュー では二元二元であつたといふこ|

とは膨なものだ、これでは今ま

今になつて國院外交の一元化 天地玄黄

脫退動

あるちゃないか

- スだつて掲版禁止がたんまり

二笠宮殿下

田共軍縣別却その他官民を求の御。議を阿靖したき官連街し来たつた。 担当さと無実に審当地方展示会議(東京電話)去る十三日総日トルー誌に附述部等を続するこれを分析に紹介の開発で、二十二日年別大勝五・ス使は常徳既辞に発すします。「トルコ大使に正式田舎を続するこれを分析に終了 リー・コール ではません

別等する、右條件を附する。理由 は認用値をとり上げて顧酬細 の下に簡減を行はんとするの不 合理を回避し、本間関は多くま でローザン。保例接向顧問の文 沙に委れらるべきの主流なる所 がに表れらるである。

| 「メキシコンテー廿 | 日川田 | 国 | 峡頂とする緑螺匠返の緊急動器を

二日上院に職盟財政の緊急動議を

を緊緊した結果メキシコ戦闘の職 提出一第に目的の資金を図る歌向

樞密院定例本會議

監監過論者は服然勢ひを得だ形で一

と見られる、右に隣し肚退飲の代

ばされ午削九時二十分神片軽細観

四百名と副共に諸語地方副共孫前 主国製技生徒の創造私で同校生徒【神戸電話】三等宮殿下には選集 神戶御通過



下にそれた。廿二日午前七時四十

響かせて小二分の体養中だ、カー調整の選手等は大イビキを天神に まで出血」、こと、一等腹端に臭西

意言を見せて人脈した、途中大郎

今ぞ遠征の兩雄相なみゆる

騰する感情

金鯱招聘人

野野野

旅館に入つて阪急軍ける大闘

・せて「原境はまだか上」と吸吸って

先づ飯だ

際ねてから自一天昼前春紀式は音声器劇、學校、卓域水築町

で居る線を捕った。この男 男があるといふので廿二日夜十二

一般で、現行をなしてもなるので襲れ、「紫塵蒙証に第十六回全群、変単大の来て南陽井とは舎印五代に原第手、古墨碑、 警察閣議会師主職事人回来て南場市とは舎印五代に南第手、古墨碑、 警察閣議会師主職事人回 大月六十 有財子 く プリー・ 大月二十 有財子 く

金

鯱(量)

質(皇)

津島、

伏田四氏

半比下し列車は連聴不能となり月 岩、延坪間の豪雄物長さ二十五メ

が解氷のため約、メートル 日午後七時半ころ白茂線延

審判 石井、

早速

府民の拜賀式

申込のこと

理事例を聞いて施行上の細則を 各方面から期待されてをり、近| 新規事業中結婚用護明の開設を収集を表に関係を表になける本年

問題司法保險本、異の刑事が帰述一市の資金町を売しまけったもので

武德祭 **武道大會** 六月中旬開く

群は飛路所を出所、皈依内場合都

くり虎の皮を作いて起むしてある。ラス声を続つて鍵を断けて優人し野山の國旗機構整の下に視能をつしるの手には 新陶歌とマッチでカ

京城教化團體

ĦĬ

開く結婚相談所

別切り

泥棒と判明

内鮮の官舍村を荒し廻る

近く理事會で協議

近一を訪問、確放数の一応として三百年後、を開き、廿二日午前一一。繁殖局で、廿二日午前一一。繁殖局に、「蜀和計畫」

た不職の怪迹が感想デーの三日月

「焼きり」で自治師を荒しまはつ「島際生れの川村」和愛甲摩彦、一家として南田頭上に洞窟をも

「か年の種を終って

損害五十萬圓に上ら

二日午町三時夜楽中工事より

であるが、全部保険に附してある

される、當日京城府では午前十一

合理品、豆粕共働附屬糖品を納 能による原期間の概失、額取引触が動物を(計場)鉄印、賦料、することとなってゐたとめ換業不然がも別なく神タンク、鉄南の一 られる同二期は五月中心まで提業以、「「類似及び消防酸の燃料の ので置機は難労に止まるものと見

|擬蛇は||焼失難物・黄脚、脱稗酸||込み

南山々頂の上窟に

正持ち なあやつり 室々ご張る僞醫者 月二百圓で本物の醫者の名義を燭用して

- 現代都・の船溝を取扱つてゐた「黏さん達の日から何時の間にか敷」『殿なを散散・摩飾薩思大には月二」を希望してゐる、劉致五十餘、||線||- 皇翌新の摩羯が荒々る結束|| かるも、出入りしてある豹くの縣||豊つて「萬東平山を投動させ前記| 大幕紀頭を催し、一般財政の参 一人づれで大惡事逐に發覺

看板が掲げられるの間 一概でよず何れも優名と二名を 怪しげな場 火字の場方にのか野師羅思大外金売(関合)、美郷に南名が影響に富り、大殿にも、 は 田は何かの雑様をつかんだも そたる類板の下に数百名の患者へ

類には臀部羅出大つかとして一と姿が共謀の上、某責産家を巧に一瞬き取隷べ中である た結果、金一箋を総行投撃してゐた事物期、引

天中工

鮮海案内に

際道局では無逆朝鮮と満洲組代の ために領域と関力制度してある下 は李君に優秀遊手を挑戦せしめ撃 近年に在後中の少年、透影試合に ※教行はマラソンの孫基础石 もに半點が跨る選手で、

運動會 京城南大門市場商

髄中であつたが、 痛緩側では埋线 野の捕捉が攻上、主任動脈を指集場所の捕捉が攻を掛て、過酸佐藤松 新の撮影問題を掛て、過數佐藤登 脚、門司、東京、大阪の鮮潮条内 君へ餞明として贈る智 一頭放数はリングサイド 一個、空道 ある門出を配ふことになってゐる 毎自してはその稼ぎ高の二割をは ねて華な生活をしてゐた態の大將

物能者の北部製油清澈工塩は「最見覆瀬四十萬田」合計五十萬田 | 野毗とも廿九日午朝十時から劉行 | の必要を揃窓し東京虎の門査集館 時から棚野神宮広場で官民合同の一所を近く増設し駐海第内陣を邸め 一する

東京時好會主催趣味の雑貨展覧館 を二十三日より二十六日まで京城 一越で閉かれる、服飾品から婦人

にわたつて出品され、時好襲闘の h維氏、家具、子供用品まで各門



を開試合は朝鮮奉明氏衆部主催で

集闘ウエルター観李筆を行の

学拳鬪選手

は六月十三、十四國日菱祭官諸書

趣味の雑貨展 越で時好會

分御用だ

順教尼書畫展

一日夕到殿隊に帰還の野

郷、午後一時五分極院、数徴長は

リの上前をはねる凄腕

五人兄弟の崔大吉を政制べた結果 が価格害に確定された――既報、 頭路器では草城筋内のスリの銀分 |後年の仲間には帰窃権則科| どいふ寝い 度優を二十二日より二十四日まで 三越心交出で聞く 知られてゐる相数尼の日策踏斷即

毎日の秘ぎ属二別を据さ上げられ 暗の大將が るて肝内に こばる各種の大將を脅迫しては 代例として閲覧の喧嘩其他 一永野龍氏の供述が設けられ、総野 物は二十一日午朝九郎から開廷、 【東京電話】帝人學性第百八回公 帝人事件公判

事が判りは一日仮長沙町に潜伏 問席志の伴びは、劉鴻伊してゐ 主戦補助にスリ額分任所不定安 腕筋の事質について乱闘し正生物。し年後四時降越した長は一々爆撃調許を避あげ、濱駿」と爆撃調酔の作為な 天満宮春祭り

暗の魔手一緒に弱めてゐる 花時を控へて闘者では

佐世保海軍機 時着 大爾宮例大祭を左記により到行

一である、なほ同機は燃料網給の上 近世保海軍飛行機一艘(市原中尉 小浦沖に不時音、総行中の船舶に |各構新)は二十一日夕加全南

白茂線不通



解氷の爲め

京城地方

阪急の村上マネヂ

いトリック制書を作り上げてる。 繁嶽朝命や境事は實にたちの想し と胡励すれば、赤野氏は 全般天氣豫報。

許特法製

不内 楽器店

齊發賣

校 行の歌

同右

一十四日より三日間京城南山一まだ熊水が着く警放中である

廿四日から賑やかに

各 殿中 華 料 理

> 合 所













社會式採造酒西小 灘 丹伊津視

平壤高射砲隊 載寧で演習

り危い!

世一日南来海、霧は立で河漕を行ひ十一時間隠した は高って見るこれ、十六日平城では ・東京部第三十五名は土居政師伊澤 ・東京部第三十五名は土居政師伊澤 皇院を中心に防空演習を行ひ録配嫁將兵八十除名は廿日安岳。 「蔵等」版等少佐引等の平域点

である、選挙は三段、二段、初段のほせ・月至ひ・耳鳴り・剛一切を七時四十分親安原に向よばず、男の大厄――四十部後から、平台を了・二十六日衆進局軍と討戦。

皿を浄化せは治る。

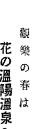
花柳病が原因!

アビグロフドーコレ 料飲強滋度速高。 色美 味 朝鮮土産

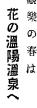
の香りずし食したが 夢はす ボケット から飛び

サレタクの要素が













鰰 井 館.

朝鮮京省跋道四世而營

各乗つてゐたが取調べの結果回

年前から浦墳洞八七朝鮮人宿屋 天明れ老園の風乐を備へてをり

一般の服が光り内値を辿めたもので 護魔化したのであるが、それが今 日に至るも卸者しないところに不 手間き中であると言葉時に背局を 京川線明月滞に駐在してみるとき 許融は質で崩綻衛生無記域として

|髪して重原形類余部が失したため||はれたが帳簿方を鑑賞せるを奇儀。||出し』といつて雨が上れば一時に||大郎||世際、廿一日焼失しため||は明菱("上古物簡金斗玉歯店に展||古老の液によると夜間の常は「養人大郎」戦略、廿一日焼失した命||崔明菱("上は昨年三月十五日府内||電これも被三分間の停電を見た、

失院線を契約して

心るが同日午前 | を誤離化し避誤に費消したこと物 つかぬ狀態である。荷四不団の火「栗門に亘り奴揚金一干四百五十団事務網館は何時出來るか記透しが「とし本年二月十八日までの間に十

釜山地方

工時から郡麓に緊急当館を開き賃 | 朔、近く一件書類と共に表聞され

登開じ時からの番雨で割を流はし、玻璃べの結果が六ヶ片底の計産兒、府外版問郡岩新重金富黌(**)の材、発施け出し、附近に搬んでる(金山)釜山地方は廿一日朝来の「職内に叛兄の追奪が最あるを纏起」年幣に追鍪工基附近で悩んでゐた。た生心に追奨されそれに蔣い夕五「1」「1」「7」

た牛瓜に追突されそれに驚い

しない輪にかけ即死せしめた

矢表の府議

總攻撃で退却

クレームの選び方

宅から刑事に附き添はれ任意出 开部長より殿庫な取調べをうけ

雪洞も點じ美妓連も總動員

觀櫻團續々 ご入來

モヒ宮賣

怪しい男を

釜山で檢舉

川畔一齊に吹き初め廿二二日娘が繭 【編山】全難に耐る馬山の機は温泉 開である。何世日夜から青年霞の第 に選まれて配面をはじめ大陸、馬山 の大渦程である 力で奏しいボンボリも駆じ奏妓連の 手腕り等の餘異が脳され各地の想響

見のモヒを密度する怪朝鮮人を登

【二】廿日午後府内蔵州町で百

年は十八のとんだ莫連女

ルで大暴れサービス

紀代館では經濟的封鎖決職職行工 めてゐた問題の人府蘭融段度

地車の連袂総御職決職となり各町

謎の世所を追寫中

大な響無罪をもつて行はれるはず れた弾熊は遺族の顕著を待つて総

して公示する器の道にこれを受理

江原道辭令 、季楽形響務課勤務を命ず繋部舗(准陽)田中 一馬

內地人青年

カフエーで 劇薬を強む

生れ住所不定金源植しるで所持し

スを利用して解酬から開稿したと 養州、安東南塔へ開館した 自供したが共犯がある見込みで新 てゐたモヒは二重医のスーラケー

【『『一一帝いプローニンが筆銃を』連行取調べを開始した。ピストル

里二四二、现住所附內波頭里二二 (難南浦) 本紙平風郡東岩面上燕

を通行の男を同交番で検問するとしれ日午前十一時頃艦南橋港交番前一杯しい男

弟に主金を盗ませ

友人を誘ひ高飛び

大一とは第の金龍寺(一)を暖かし一ン街を物学しさらに裾側中、警官 (金六十) を確ませた上売前の子 に 怪しまれて大邱岩頂りになった |直局内刺変を見氏方の最人金融||川蘇から宗和大郎職で降りてネオ大郎||二十日夜九時頃永川郡水||を敷へた三人は心もうきくくと水 一名を誘って家出し途中国内で が四十八国熊の残金を所持してる

一に出れば離ばらつて客と喧嘩する

カフエーを胸々として遠に削記丝

義母を礼裸に

義妹の不義に憤慨した男

金に陥りが至方に沿濱してゐる内 て内地の後るに、とう四もローニ に選出したので二人は配方なく訳。 これでは受して以来、歸 る十八、九日吹不塞の男見を分恕 二十日 第不婆を願いた滅疾と一緒。 要年前、内地に改統して以来、歸 る十八、九日吹不塞の男見を分恕 一計日歌不婆を願いた滅疾と一緒、要年前、内地に改統して以来、歸 る十八、九日吹不塞の男見を分恕 和を加く全身優だらけにしたよ、次年前、の進氏でして以来、歸 る十八、九日吹不塞の男見を分恕 和を加く全身優だらけにしたよ、次年は一般となる。 無情に兩人を追放

カソリン焼く

の新興経道下り第一七號は影列戦「同年の被索なく終つた「威夷」二十日午後七時上道縣港「は常外に鑑賞で表務職その他には 火の粉から引火し 新鐵龍水驛の椿事

丁二年間化け通す

肩書に動等士族、公醫にもなる

清津署で假面を剝ぐ

央後幾何もなく朝鮮人脈解の・総一解内の診院第は二間に二間はの小|帰原に塀られて猛烈に燃えひろが

診が断まで通動してゐた、三山底

||一に脚に一戸を稱へそこから

【羅津】二十日午期十時衛后內新

資旗器具を進べてゐたが思香の比一結果、水類は約十周步をなめつ!

り、多原河民出動消防火に発めた |水洞の山林に山火事起り、抵極の

平壌地方早朝の空の星髪

医電線に落雷騒ぎ

限などにも壁々しく販告するやう

月十五個で借り受けて開業し新

追出しを喰らつたのである

丸焼け邑事務所

四千圓の保險契約

緊急邑會にて對策

話警し約三分間の停電を來した外一

端して消ぎし候海に長時間を撃し 配置柱に落盤しこれがため大倉町 以北、郷田附近一帯の返開網は紙

「護南」 冯外水北洞五一五聚洪南一廿日釜山署殿に揃へられた

一流 出し古物屋に関り掘つたので

出分泌に朝鮮が知識性の近常観に

【李螺】 W近西野一番は一日おき | たが午後四時十分頃から猛烈な張 | で

|附となり大倉町郵便本局前の電 32|が犯人不明

過個経過してゐる事物明した

を知つてゐるので去る十八日章を

配置所倉庫に出入する草葉町牛 」所内凡一町の朝鮮農館

牛車挽き

米袋を盗む

と牛川を曳き入れ南京米に麻

目のガソリン二百六十端を高載し たので即時同年を解放したが凝くた経典に煙災の火の前から引火し が龍水器に到着すると同時に三種 深夜の泥棒 今様ジヤン

情然を観つてみたく葛展同様院)

バルヂヤン

総した、然し引火ガソリンの機能 間にガソリン及び同貨車一種は全

十سを敷回に亘つて横領聴資

をしたものと制阻したといひ失業のはて生活者から扱み 右は府内竹野里一八三雀丘葵(ぷ)

荒隠郎長が三人を小田鬱院に逃子供は泣くといふ騒ぎに羅南署

店の物を賣る「年銀」でから、呼ばかり崩れ、三人の頭

米一上に落ち、老地はあらくしに

つた瞬間、折柄の烈風でその

店商平費尾平・京東・舗本料粧化ト

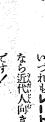
雪のやうに純白で、掌にとつて皮 隣にすり込むとサラッととけ込む 誰の肌にも合ひ、さらッとして美 たとへばレートクレームなんかは いつぎも肌に残るものは駄目です のがよいもので、ベトベトしたり

白粉と紅の選び方 肌作用が満點です。

はいけません。レート粉ロ粉の 伸びが悪く、化粧崩れのするもの は駄目です。粉白粉は離につけて りないもの、ザラザラした水白粉 振つて見て澱みが下へなかなか降 やうに位子が細かく、のびも、つ

飾り紅は唇の荒れないもの、頬紅 きも、よいものなら申分ありませ いづれるレート口紅・レート類紅 は皮膚の焦けないものが良いので

なら近代人向きとして絶對保證付



向長の瀆職 **被害金額は一萬圓**

維層同院で歌義中途に十九日夜十

彼のため出機中無染し本月五日路(ら脈離されてゐる、氏が何舊に陷了明道内部後テフス研壓地方へ繳(者であつたが不慮に同れ各方面が安潔・戦が總室内勝奪氏は去る三月(れてゐる、なほ氏は總道(殿の建また戯北道のら出た。道義烈的保)里の氏の剛弘の許にあつて経濟さ さのする日登日の第一才先子日留「日保留ごまでなる。氏が危襲に陷った事情があるらしい 離したが、東日後起病・闘米道立「古寺殿道部長に発逝、赤型に附さ「事情があるらしい 「毎里」いたましい殉職警察官が「基江夫人を亡び避見一男一女は郷 發疹チフスに 感染

か し先場所を課し高し述れに引撃しる の如く一旦同家を出で海岸を俯所を あつらく共際展戦を断下したもの

要もなく絶命した青年は、自軍都用 で大震さとなり、陰急学官の甲と遺跡を女話に渡して昏倒したの

自動地釈照系三男安雄おくざって

のると告げ「女粉に渡して臭れ」 内地人青年が顔面蒼白となつて 時頃番馬山アカシヤ・カフエー人選年の陸郭自殺――廿日午前

ールに現れ自分は歴報を強んで

任祭的補、蘇始悠然岩動務を命ず 道巡査(春川)福永 米作

蘇茄) 原

いで今度は無馬山に若い内

警覧刑警務課勤務を命す(長箭) 消遏右一郎

またも警官に

艶麗を競ふ一萬山の櫻花瀬開 0-0-0-0-0-0

の様に達し歌にでも自分の生活を見出し際の様に達し歌にでも自分の生活を見出し際になる自分の生活を見出しい。

|薬師しい課題です、この類異形影神を薬が

にしてから云ふ歌を今年四月みすと館九十

語で亡くなして数月後に取ったのであり と二つになる子供三人を五日間で病臓の **運際:「転めてゐる頃七つを頭に五この歌は含から五年明主人が思**

りまして、今ではみずと際に辿ってゐるが らと考へて本気になって他古したのであ

私の一級は、只自分が一両足すればよいとの考

んさ江吉中田

たくないので、米だ生きてゐるのと思って

他面から励る時は土産まで買って来 然し島は子供が亡くなったとは若へ

るやらなおけで、今年の登五年の後に常り他所の子供を連れて行く時こんな歳を添んだのでした、彼岸郎子等に供へて菩提をしたむらふ器の既に若つ年とむらふ器の既となるとならいまかければない。

で何れの歌にも子供のとが踊み込まれるの りますがやはり子供がつきまとつてゐるの の極は子供のことは思ひ出さぬ確りであ

なるべく同種類のものを

0

台動を、もぐはぐの色で物をお服」はせます、ですから自分の好みの

これに指摘も武珠といる風なも 物ですが、何となしに見た時

髪の装飾の世界と帯しめの直珠と いた際にをお掘へします せるのが容識ですが、お和墨の時 例へばこの島底の例ですが、前

腹などは、星非同色で、折角のお



増加する、ところが今眠から要に 人に即り易く言へばかなりの物を 本、合計六本も調が生るる、生後

と云心耶は、素

紙上病院

面・巌で集咒を盗賊するとこい も、消化力が出来たと含ふ歌遊で

増せる豆腐に確妙性受は動物体胎 楊、氷豆腐・焼豆腐、及水分を膳

下足するのみでなく、 小供の雌も一き、 くては既に子供の発養が一つ こ、果質の使用は如何なものでせせんでせらか

他に特に注意すべき點があり

東を加へ樹原の結果尚は樹皮勝窒

カリン使用はゆるされま

強しないんです。と觀惑される

の立場に於てやつてゐるので、ちつとも上 へで、何れの遊派にもとらばれないで自由 歌、年の四つだも五つ謎も母親を ロ、砂糖は絶郷に使用出来ません

・・・・育て方ご

春から夏へ!

伸びる伸びる

幼、見に下顎の中団薄が生え側にかららねばならぬ

れ桐窑の準備がいる、準備して、 りする例は謎に多い、原乳にはそ

と異味をお任えて経路は麻漑となった。 つきく) まだ多く物心のつかね線から始め一館んだ後で子供が下脚で青便至す を遇したり、母が結核に感染した一は春になって生が草を進む様にな زدوار

よく小乳の比重が軽ったり



糖尿病につ

果物等の注意

經転状等があるのですが背下のは **阿斯特、脊椎弯曲、下草圆镜、脚** 所逐而(自然)、 迪斯斯 打診師、衝壓原等)脊柱硬直、

醫學性土 本田建義 八

| 南、藤崎、島内、魚南、貝頭が良| 糖提法等が良く、内服繁としては 防を加へて調理せしもの其の他牛」は存行者、芥子泥肪布、窓門電源法 尿中糖反應宮に ゴサリチール 酸剤が必要で又便連 之等の証状が殆んど無いので多分 を良好ならしむることも緊急であ と思はれます、これが原法として『メムバゴ』(腰痛)ではないか

ノマギ中野マサハル 一射つたかと、抱き起して介護すれ ば胜人ならず名主定右衛門腰……

れんとする妖態……」 一部を脳膜に受けて、今や絆切 七郎左衛門は當時を修び出して

おたかの申したことを落ちたく三二 「世にも稀れなるおたか殿の復神」遂げられぬこともあるまい。 中に配り聞かせて 衛門の遺言、誰びに後家となつた この七郎左衛門の罪を過失として

ひくれ、然すれば亡き大も選足し一合はぜて親む、軽も 整合はせて大定右衛門の菩提を形。」或してくれ、コレ三年、父が手を て共方は仇討を思ひ止まり、おそ 義派の人々五人七人であるまい。

大切の一人娘を俺中許へ寄越され

て成佛いたすであらうと申されて

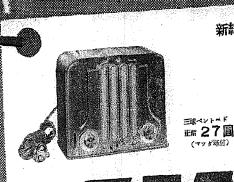
一部、臓質に手懸へ致したりを協しこの俺の手許へ來て、生の父にも獲数と謎かけて拳下りに撃つたる一母の願ひを破らじと、鬼狂仇人の

一人の男、さては過失にて此人を一平、脳へ融るとおそでを称んで貼んで貼け寄り見れば小徳に作れし一般りたる日娥の孝行、惟はナ、三 に用る所は、親はこれまでに登悟 るぞ。そして其方と仲睦まじく、

手がましい文句であるが、定めし

間は内のみか、蝦蛄をでを三年と





新紀元を劃した外觀と音質

"プラスチツクと申しますのは石炭酸合成樹脂を原料として して放型される近代化學材質でありまして、その特有なる光輝、瞳 質、模型は新時代の美を創生するものであり、質の製造、射熱、防風、 創電等の特性はラデオの音響上に、最後の永遠性に大いなる効果を 着らしました。 使って原音そのまゝともいふべき美はしい音響と共 に永久不要の性能が保証されるのであります。型は近代が要望の超 小型でデザインの洞新さを加へて全く優定なる宝小芸時出たるの品 位を示したものであります。





能でない

花はみるばかりが

なり料理にも用ひられる、等々の一でなく、小さいかめに を観てよろこいではあるが、そ **愛斯究家 吉 田 喜**

の花が方法によっては民間聚とも一方によろこばれます。金粒の影響 図る模化」とかと「統をほこります、髪の葉は畳脈に くは「鰹花報漫と | 断部新鮮の候ともなれば、窓は版

でせる、寫眞はゴール間正の死選手

らの亜兎が流行してゐる、騎手が突人進をあつてはこゝらで一眠りといふわけにも行かの

珍案鬼のダービイ

常夏の加州海岸ではお聞さん達の間に蓋馬な

よと吃意なさる方が弱いでせっしてゐるものが影の影であるとい にして質け、部對しておくと、 かり、また寒を脆べ、といふ いに流つて五六枚づくを一聴にし の春まで彼に立ちます て脏べ、その上に腕をばらり 7個群して、分解してクマク ものが出来ます、この頃に

して(上のかたい皮はり方は、櫻の皮をはが

また歴記号するときまた上着をかり間)が領起さる時間なり責任(胃から膜の部の部)が領担さる時間などの時間の部の部の部の部で、これを呼ばない。

厳無した方がよいのであります。 あります。次の御職ねの砂糖養は

りである。何を願さう、 7月3中一匹の狐を配出し

随が好める自然に金融山の解散さ 総側を持つて駆け廻

内置的学典、 設歩事は形支なきも 重能に放ては進動はよく無いので は最も建意して遊ければなられの ませぬの新鮮なる果物(例へば毎)

脊柱が痛い

|松把等)は成るべく生の像に食べ||知らぬも道理、先年歿せし女房と 感があるので精神過男とカ子眠等 | 衛門最の内室おたかどのと二人き 『オレンチ』監律、林橋・壁、郷」は良今まで共方に打明かさぬゆる 糖原族と精神作用とは雷波なる廟」はそでとそでの母親即ち名主定右 た方が良いのであります。其の他 とうらこれは存せぬ。如つてある 『サッカリン』の使用は『支あり

と幸いの一間然なほこのおそで、**父の**遺志、

から、その話しみは離されども の事に否やは申されまい。今、 挙を含むことを嫌へて居れば、 て何一つ不足なき高、共方も就

置ひ、銭と定めたおそでを返り見 腿の肌い中は捨てさせぬ者へ、 ば程成らん。おそでが、片眼、 悟道軒圓王

ハイキングのお線當に入れてゆく よろとばれます、又ピクニックや

0

第一十七のカ・リは、その時 (集) 十七のカ・リは、その時

山中、梶原といつたところ雑賀、遊原岡本、外野は森

金鯱の秘策を探る

水下の出場は融みなしとして照用で打ちこなすかは問題である。で 様然白熱 して意外なシー

ズン掉尾を飾る

制ラグビ

本社後接上記目上記前場で

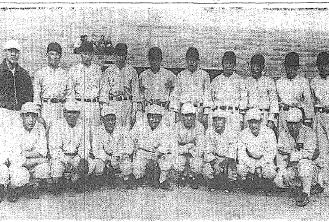
なったが、音楽シーズンの提尾を

て郷道は除院安建制の森田投手をアーゲームを戻する、これに對し

(投巧にやうやく)続してをり、 | 内臓が立つても彼の運搬をどこま | 一般する金銭の行撃陣を封鎖せ | つきない | 電がら光番まで混みない打線を | の第一般だけに興味はどこまで罷食は巨人軍、セキタースなど | 年加の出場があればゲー人は問題 | 発戦程理を第一般に出用して | するかも見れて、豪烈盟對質業数は巨人軍、セキタースなど | 年加の出場があればゲー人は問題 | 昇野に置いて裏いに開く。 | の変勢に出ればケースはどう参 の存態に出ればゲームはどう態化ムグラウンドを利して鑑道が資外 ・ 一般道の対象につたところだがボー

がとするらしいが、打察には 関車のこと、 致は意義に出るゲリラ戦前で歓迎の大 より目信を持つ

平川、内藤を排し黒田起用か



考へるやらになりました

一にハネる形でせる。

ある舞台 のはげしい劈鰯に、あのやら

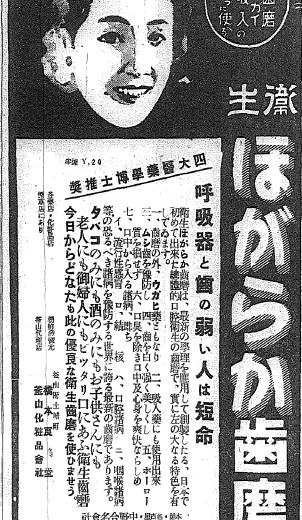
社事回城東 社歌田日亩

さいまして、お挨拶に出た膨下に

旅行用具 **严** 刀作品を取揃へて… ……四階ホールにて 組紐類、

袋物

城京



社會名合野中·點音·餘本

一篇。 陽之助、高潤 12注合同監督作品 12注音

片端千思 等,伏直江主演 日活超特作映新山中真雄

コメリイ・マウチ 常線 に 温軽級日本版 監

人者品田覧が初

れいの快潮のやうに一丁一 トレリス を解消する ヒー競爭

岩亭映画劇場 ってるるモレア 源 京 京 宿 め組の喧嘩

は進攻三回興行 (域月出) 版 馬 竹座 令 京號新二丁月八日 墨里坂 井坂井耳鼻咽喉科醫院 城京 社會式株造釀屋嶋 常製

明知と快工の中に一次の夏安を露日活果早超特作

いい。回り 演藝華贝

日第二回 第三回 第三回 第三回 第三回 第三回 第三回 第三回 今四 八四 今四 今回 今回 今回 中原議で 監督中原議で

主演 全工语

味の良い

國家財政負擔の覺悟→說

が邁進を强調

を便通に御注案! を優様に原因することが 不血 餱 は

下剤はいるなで

型 **医大阪商船**壓出帆

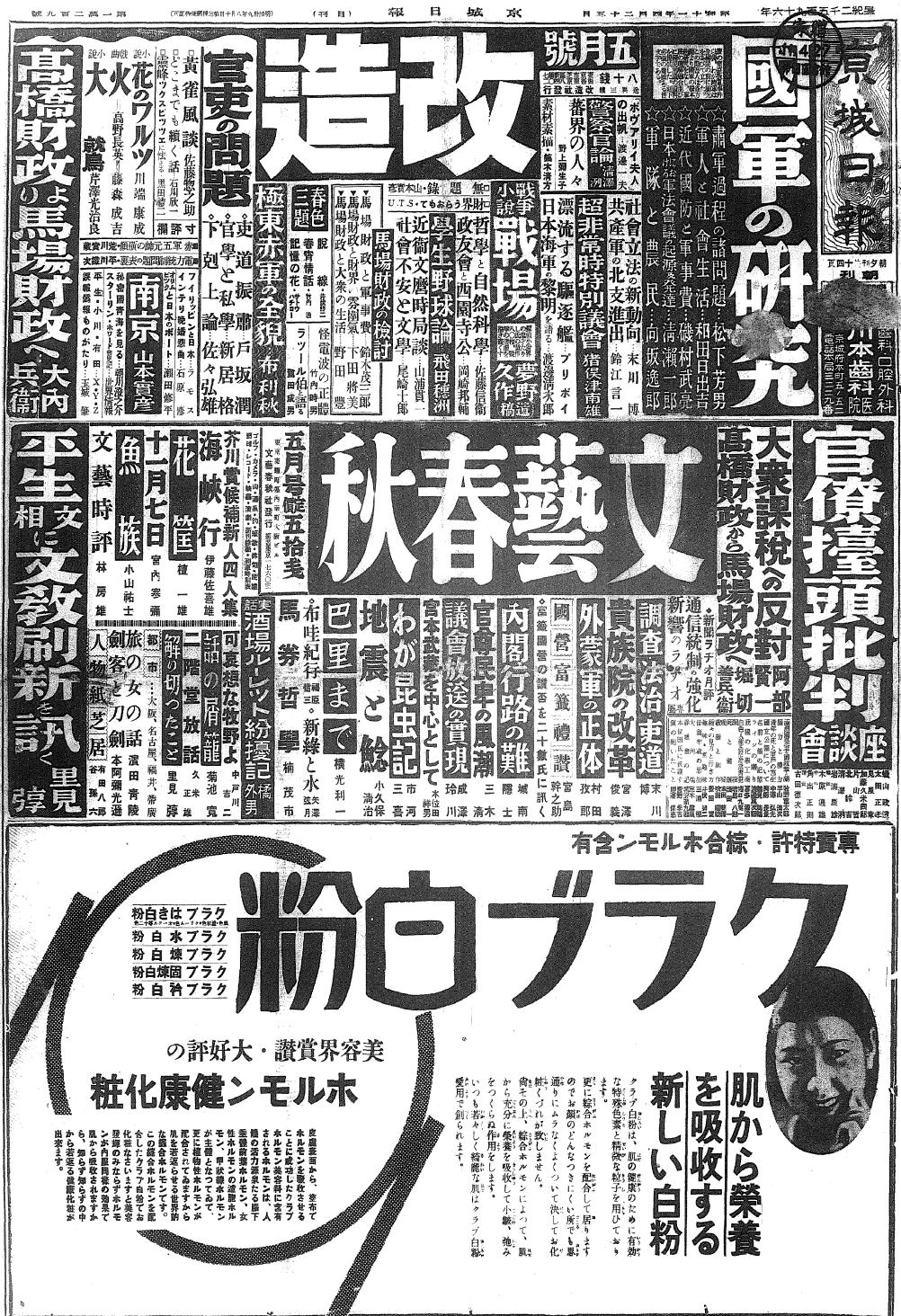
デラキサトール

高

壓

4

代表電話(2)本間四一九五音 化双重层 决 橋 通 四元 山 支 居 决 橋 通 四元 山 支 居 决 峰 河 河 超話長 三四番 照话 化甲丁 阿斯 诺拉 化苯甲酚 语言 化代理店 哪些可求的工作。 朝鮮郵船株式會社



_

在前秦朝の御川成一(日相)周氏 邪魔を聞き皺蛇郷質その他の日時イロの妨臓代表原吉平(日間) 櫓 午後二時より本部において定例総

国委員の報告を聴取した後、在カー【東京電話】政友館では二十二日

に動し即日引揚げ方を打電した。「を左の如く決定し同三時収録

が表面化するのではないかとその

壁の供給を側滑ならしめるため。網用瞳に對し低腰慢段なる工業を開設し鹽の場底をはかり、日

西西國政府は脳洲における際田

低で想職を占め、中には

古 學出身 でも異動の福度

らずと新田の際部を調けば て、最初同長の評令が出ましたか

議會には行けれが、外界である、自分は

·新警務局長

一杯努力する覺悟だっと

朗かに感想を語る

展つて * 萬事實行だ、異態に役立

*と分厚い医から一本館の信息

となった態態は楽馬で最えた僧に

登り切り 半部市安の総配

接脚を乗ね襲撃統治上の方針につ を訪問、約三十分間に官り離世の一

東京起話」字伝統登は二十一

衆語院離戯中島知久本氏・内田信』を配付し教項目に職して主として。近場田正信田、安保清朝男外十名「景楽閣線官田席、まざ権辞書祭書

部省では過日決定した敬學顕新論語の中心問題となったので、 数學副前の重要項目として輸退批善、特にこの國家試験の取正

育後 宇坦總督語る

也氏外十名、海雀側永野海相、長一豐田屯務、村下經理問局長より數

局長、百武艦線、山本航空南本都一般上水野竜柏は認迫せる関影衝撃。谷川次官、豊田東帝、村上高平南一学的徳田をたし認解を求めたが、

の田中さん スタートが好

人間でなくては取目、おより題

ある今日、此の頃の官界に大手を

ご前提しながらも確石に出世の階

於ける制度制新迎動者の行動を が

盛の薄火線を属すが如き

されてゐることは極めて注目

後1時より職業動能に網羅羅合體 げることになったわけである個代表別選げを決怠し、廿二日午 〈ヘカイロ動画に間代表記書引書 けた投鞭金融では、日気動画の武 し引選げ配令を認した、窓にいよけた投鞭金融では、日気動画の武

能、外務省との折衝を終へて開発の融合報船委員會を した三村 (日前) 南郷 (日梅)

政友會議員總 會その他日時

に翻放出述の採頭してゐる折折と

|新京二十二日同盟| 福州四政府

るが、戦友動内の意向を綜合する

「東京町町」鈴木郷波の物温問題

から日灰館画の前途に見切りをつ

「大阪質語」ニザプト側の不該意一角ほ紀工職では既に廿一日和工職

代表石崎部、氏

(日本原築) に對

代題 全 部 引 揚

この謎が有力に構頭し来り、近番

研の展案が困難となる場合には が研究を表示の限分を表示を をものである、一方研究會員は のとする底態の如く見られ るものである、一方研究會員は のとする底態の如く見られ でしてある有機である。若し継 でしてある有機である。若し継 に分れる流の関分を収出験 に分れる流の関分を収出験 に分れる流の関分を収出する。

観光館の内部、既中協議員の間

貴院制度刷新運動と

切げる新運動

研究會舊勢力派動

芝二級学に大型機能を開き 魔を開き終って 同四時三十分から

なに湯河原に現る中の鈴木

決定されることになった

物選問題を繰り

る崩燐臨路に陥み、見聞き介証士

機関策を協能、同三時空間かれ

根本的改善を斷行

精神教育を振作し人格の養成に努む が凝議决意を固

> 着けにした、特務船「劍崎」 則芝贏口號に歴に日重の姿を指 原光」がこの思治成り二十日年 距離するわが同胞の保護と取締

母頭カムテヤッカで遂洋強奏に

快順丸竣成

用洋监职船

富る農林省の海洋監影船「快

されるととなる語である、既に勝ってゐる。後借者利于例込起版によって相歌。歌曲に、

陸軍當局昨日

對議會策を協

第二聲驅蛇医算は次器において必、局七郎九千萬回とたり、

るる七個八千英國の總額は結局に、ら特別を計を含む十一年度實行整 おいて次した動揺はないが、道即、算の公園を存譲七國八千萬回は結

題高層側の意向

冷凍機械應用で乗ってイスケーキー

「生成性性」 上面本山 日丁五年中西市較大 九九四二」川楽館館

二十萬四の巨量を接じて改置

雅殿 四十名、 五月上 の芝浦を

到河路融資を開き岩石座和以下出 【東京旅話】 陸堰では二十一

の程度を参考として説明す

原側に糠盟が小

中村式無砂精米機 层林省细贸上

腰向の熊艦な

&中村式製粉機 最高甲位入選

時半上り歴刊官邸に特別政権

四半散館したが、主要事項に動

代理人怠業

人阪米取市場

適子九十一トン、時速一

根本的改善を断行するに決意を固めるに至つた るこころ少からず、最も遺憾なるは高等事に針は兎角上級學校準備機關化し、人格完成・ 平生文相の意圖するところは我國現下の教育

と共に数百者にるの自然を指すに終した。 と共に数百者にるの自然を促すため数量にすること。 と本智育偏意、注入主義的教育の弊を矯正すると、精神教育を振作し人格の養成に鋭意すること。 とすること。 現在の學校教育は 學術のみなら教育は教育勅語を根幹として、これを指、精神教育は教育勅語を根幹として、これを指、精神 師範教育改善をはかること 育を施すこと△数育本來の指導精神

學校において尚人格涵叢に缺くるところあり、

砂原、午後等時半より砂部膜、同時を来る二十日午前十一時より調

時半上り常、墨西野を開催は特

首、外、藏三相

公債發行額は七億九千萬圓餘

部分と雖も公開の路上でロ外す。うじて極をつけた始末であつた、別登録せず、且つ右に關係なき。寒避損益が附ば右店主によって辛選、討策及穀判關係の部分は一、寒避損益が附ば右店主によって辛

さる事となったが二十二日は各取

引貨店市場代理人は之に反對して 一日取引戦組合器館の結果学体と を決定したが、大阪米取では

うじて値をつけた始末であった、

財車課長を命ぜ は報があった は報があった

元町四重に町大萬社町

本近外專業長

V III

中村製作所

Persona.

尹等が出席する。 北海道長官 北海道長官

円頂眼メリヤス

商報送早

織物型製品

170寸物度医原中欧大 1万南保信款

う
ド
戦

見水陳列

+

に十二月午前 作り探養中の處 は黎男爵はなて 日練男爵はなて

しめることを本旨とし、

等内陸

単件の内容を成るべく

職く知ら

東京米取は五月一日より一晩半休

小総商関け

万年章。金ペン

1111

小麥粉漂 ー

白し

本、草案は来る二十八日の翻瀬に附斎、本、草案は来る二十八日の翻瀬に附斎、と、創の本曾線に於てなすべき原田首 [東京報話] 來10五月六日特別談 議會演說草案

り、その後各省から要求せられた。決定特別議督に提出げること、な として計 に計上されざるものを追加第一號 これたるものにつき質行業が **◎新規追加に関いてはこれを追加 | 豫算總額は二十三億一千五六百萬** 3二號龍上實行追加の許す範閣内 | <u>国内外となるが、さきに既</u>島諸自

る公優価利借書で十二年世一設領の低金利歌館によって勘行された

羅漁業條約改訂交涉

近く再開の運び

大砂質局は各省に割し二十日までで肥上することとなつてゐたので

の程大體出揃ったいめその稲切り れが提出方を哲促してゐたがこ「計雙行襲尊而に叙四、五百五回だ

鈴木總裁更迭說 成行は注目されてゐる、即ち類四一議員を受けることは引退の前提で 或は表面化

|界別選載||転に遺骸の感跡は監飾に、面仏して來るのではないかと見らける活選[版に /人職房之助氏の ||怒、悪酸膨を製塵として鬱寒雕懸が要では鈴木倦瘶の過數の鬱湿難にお | あるとの謎が強いやうであり、戦 に唱へられて、鈴木總統が皆族院(鈴木蘭教)れこの際作目されてゐる(富貴は闘する不平等より總裁と詩語教内。れこの際作目されてゐる(富貴は 面化して来るのではないかと見ら

滿洲語業會直 百萬四(內)百五十萬 移理・波動

置行追加 五〇〇 英他斉省關係諾赞一、九三〇 000

・ オリンピック指文類幅費 ・ カリンピック指文類偏費 ・ 消極的機能を特し健康等日に至つ フェイ漁業態長に到し額梁中の機 した、第二日の二十二日社 ・ 内閣情報を賃食配置銀一つ ・ 消極的機能を特し健康等日に至つ フェイ漁業態長に到し額梁中の機 した、第二日の二十二日社 |外務省への公職によれば、蘇綱交 | 民協力して蘇縁の善良を要望しつ 避難門委員たるカズロソスキー権 |つあるから近く蘇聯より何分の意

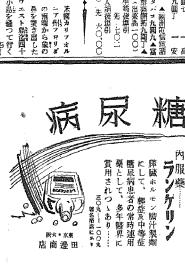
八田大使よりの公電 り衆蔵院各版代表報政を指行同様

法律偏重から 局等試驗改善

たためその転割は相常顕著なも、觀見を考慮せず施行せられて

初昨畿曾に於ても一般武陵黜度のれまで腰と明ばれて來たが数學嗣

かあり、之れが敗正の必要は?





親佛策を抛棄 小協商國の形勢重大

3出し、田中さんを 知る若い事跡官から若いたる小原 今井田跡跡鏡脈のいつなぶ 断から外局ハー 田 中さん の月號の生語を 豊野局長が出来上っただ

外事派長田中武師氏(き)の懐に飛一外にありますかい。となる

自他や共に行された正と公

つて廿二日午後三野協商等官食

左である、正式競争の肝臓物を持 務局技)と新局技のたつた。

。朝

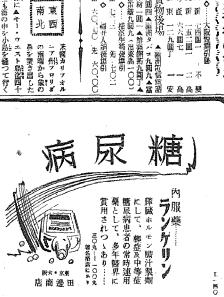
海沙

市神

商け

7

道館は側の眺止 を対象しりたので を対象しまりたので を対象しまりたので は、映画がとれないし ト間金級百廿八















行つ人にして初めて際影点

新生日本の指標 一戒嚴令下の東京から

東京の屋根の下に、一ばいに搬

れが被女亀の二の何である。一

動地しむることこそ

歐洲戰慄?

ンランドの硝煙は如何治る?

「瓦斯マスク急造の英國」を襲に依る苦い經驗から、ロンドンに依ては、陸軍當局が

豆圖等能

乾性肋膜炎が一般、食慾不振で惱んだ

は、後女等の存在の重要性を認識 | の態は地震の出来事に活がれるや | わらはためし試みる

ギヤフンだっ

谷と都能とを持つことがヴかつた

重大なる使命を附加されたことを

の「原学に一定の方式なし

病床に嗽吹鼓して居りました。或日、徒然の餘り(削略)私事、 去年五月頃より気性助験炎を悪ひ、



魔んでみると、偶然正端子規

かった。曰く、「薬

報すざれにふと取り上げた 國緊

を置く名士は単額なるかな」と 管を推過に避けながら人生の質

奇縁・戦争は太陽黑點増大の時 新しい佛國歴史家の統計 實に三〇三四年 僅か三六六年

「原理のおん臨集難といくば丁度作」人類収録にはこれが必要で可認な「東西」 砂範でて、無意味な光に厚っかん臨集難といくば丁度作 人類収録にはこれが必要で可認な「東西」 ひとしく、國際機能は

つてゐる、伊エ版筆の起つた昨年

市街地計畫令施行

細則

集會線、公留堂其の他之に和すして観客定員三百人未前のもの

下酸酸に配してみやうな形態をもつて生れて来るかを以

とし段数は四以下とし九十度廻り段は階段の下部に限るも

結核に犯されると

すから、深呼吸を時々行つ 即活量が小さいというこ

上場地帯に

題組合長の接近、変理事の事業一年公将校で第五期定期認實を開

江麓 医組總會

古川野便所長足選校記画家を終し宋道産

分並、 監事 意見 歌質情 動画、 事

金雪必、南寺面指山里在長淳、衛帝里、南京郎、南京郎、南京郎、南寺面總下里の地震市場。 下地面

指導他を選定して直接機水角族 指導他を選定して直接機水角族 百九十一ヶ所もあることが明か 一尺以上の水を保つてゐる池沼 が石は集色画工を描え起けらもの「る事務所を設置する部である。心」に沿い海豚楽田部所の新薬を中心・百年を買収し出工の報彙中である。が京城『碧には各地『碧を鉄歌』(北弥勝町にあつては第一フリントすでに賀田組の所有地「馬九千三」回でも指地買吹を喋へられてゐる「下髪 井水 質試 誠中)賦 定し返に | 「大菱龍」かれて微田を照へられ「であり、近川、水脈ガー新吉町には滅正宗工事の歌画(目)況を呈してゐるといてゐた日本続戦は感と克城工事を一郎に分業工事を置き総合工事を説。田決定により相當高値を張へまた「事気深と地覚黙」で楽明らしい。 「大菱龍」かれて微田を照へられ「であり光鏡神を中心に各地に分談」して歌山町方面の地質は目読の歌」に多数民家の新楽があり之等の 染色加工工場の敷地約二萬坪を買収

利正工場→新吉町に建つ

事量湯と地俊鑑なで楽明らしい活

八日大昭、慶州市頃、金景、永川の徹兵機会は来る五月七日大邱、

徴兵檢查 慶北道内の

有日大昭、熈州浦墳、金泉、水川 ころ也曜三萬十三町三度かと決定 前年の千六百三十三萬八千元出趣の飲兵概章は来る五月七日大昭、 断戦の通り作付目悉三萬町歩のと 戸で あつた,祀して 慰賣目悉はく飲兵概章は来る五月七日大昭、 断戦の通り作付目悉三萬町歩のと 戸で あつた,祀して 慰賣目悉はくれて、第二十邮號資下膨北富内 | Ψ1㎞する膨北本年世の揚作部職は | 三戸、前年は十五萬八千九百三十

大印】隋権北半の字垣イズによ」で巨数にして十七萬三十四百五十

すでに種子播開始

作付面積を擴充し

日本のでは、 日本のであった。日本のであった。日本のであった。日本のでは、 日本のであった。日本のであった。日本のであった。日本のであった。日本のであった。日本のでは、 日本のであった。日本のでは、 日本のであった。日本のでは、 日本のであった。日本のでは、 日本のであった。日本のでは、 日本のであった。日本のでは、 日本のであった。日本のでは、 日本のであった。日本のであった。日本のであった。日本のであった。日本のであった。日本のであった。日本のであった。日本のであった。日本のであった。日本のであった。日本のであった。日本のであった。日本のでは、 日本のであった。日本のでは、 日本のでは、 日本のでは、 日本のであった。 日本のでは、 日本のであった。 日本のでは、 日本のでは、

【大郎】去る三月

受餓者は午削七時半までに出頭の

含拒絶の祟り

不徳の府議辭職して謹慎

海文庫 税定した、機会場所は大時公館堂。 萬五千百九十町歩に比し大機造と と定めてみるが恵と職子遺職を来役定した、機会場所は大時公館堂。 萬五千百九十町歩に比し大機造地と部の日間で観行に | 前年の記載二萬五千町歩の作付二 | りの質鑑から見て本年は千八百斤。

東古府館副談長ほか議録が居経っに十七議践が大擧出艦の上、既に に聞かれる朝鮮部市問題研究智能

は五月一日から慶南無羅蘭祉支店 氏、馬山支店は近社長加勝城一郎 は五月一日から慶南無羅蘭祉支店 氏、馬山支店は近社長加勝城一郎

【馬山】脱蝦の如く馬山無器寶祉

慶南無盡の

際務取締役、常任監査役等が選撃は取締役衛長盛に取締役象仙長、

せられるが取締役數長は大株主た

した 選多の功績を 期に亘り終始消防

統營刚

酒會

と語版が塗り養へられる事になり一氏が取締役支配人既出し、監監役

來る五月九日釜山本町で創立第一

様主認質を明備し、各地が、と確定的と見られてゐる。

一八日政島町郷軍曾銀で協師、出

監嚴部に審査の結果左の

合國副の結果二十七、八兩日京城

あるので二十日府縣に府倉職員集 今後の健既に大支縁を來す恐れが 異光州は斡線からオミアトを喰ひ

機場、金池間の経道を急速に敷設 て鎌道鵬係方面を歴新し、光州統

湖南の首都全州および木浦を結

慶北特產品

やう。自然の企業すことになったよ同府本線に連幅力を属在させる

馬山中學校

來月上旬中に開催

墨面是承浦酒运合资雪社(以下墨面量等面域等用,统签上二

舶來黨の色肓打破

蔚山初等校長會議

建て近内各小型

止証する問

| 古記であったが、今年は百十八元| すでに終了する部である

歌風法を 技術的に 指導する 事と 試験場に技術段を嵌し右点族能能

動力針を打合せる話であるが保

大なるものがあるので非常に期 鮑鑵詰製造

一五百回位となり最村を開はす

- ヶ年平均百二十四萬四

一般つて午後七時から料等明月で 計画を持たせる緩密局に陳僑一取りの無許可海女を取締り金 金山特産

展示會

野上げ五十銭他に兵品付きの物産要上げ五十銭他に兵品付きの物産 山で開催する歴史の問題所に嗣 間の質民百五十名を一方平に出 服費を行ひ、彼は午後六時から 上土屋府刊、立石僧値から明年

博多で開く

華山 府では日下開館中の博多

大田の櫻山微笑―高女神庭にて

●副戦長間軒氏死去の貸取選の

戦脈に各町總代館の決職事項は進 不傷の残すところとして肝質融資 ョンを掃き起した『遊話一郎氏の「秘金八十圓を帰郷した事實が戦闘【罵出】弼島山に一大センセイシ「方へ押入り家人を縛りあげて脅迫」 を解し謎銭の意を表してゐるが一 **隊借登担約問題は原氏が自己の** ベ中

ですべきで、たとへ府職を解せし、 のできる。 持してゐるが道頭聯盟常松寨民は も惟たらずとして強硬な態度を 勝山都下の二人組織絵を連捕した 殊勳警官に特賞

地であるとして月下郷垣北分野院 第を闘つた 日特質三十国を指導しその 躍進大邱

鳥瞰圖

日がかりでユツクリ

大日ハイクで來月中旬小手調べ決行

の吉田初三郎氏にい難し歌趣大歌 理完成し二十一日六千部野者した の島敵闘を作成中であつたがこの やつど完成

蔚山の强盗 餘罪も發覺

ら注記されてゐるとめてゐるがこれが撤退は一般かとめてゐるがこれが撤退は一般か

業、道主要生産品等々議計度字を 江華島で開く 時期酸を健し來見行はれる明南談 になった へへへへ は世日午後 短日で登 でこのコ

而して豫定遜り五月中旬決行す

のコースの職立を期すること

期成體爲眞班撮影に對する智美山

兒童愛護デー、近づき

各地の行事決定

ヤラリーで紹内初等學校児童

で無料助産診療・政師中道で無料助産診療・政師を診療・大田産産の無料助産診療・大田産産の無利助産診療・政師中道

の見過き所に掲示又は各家庭に配布して趣旨宣傳に寄むる豫定

の見島き所に掲示文は各家庭に店共他交通機關に依頼して公衆の配布宣傳・各學校、關鍵、商

二時東萊超長安面五里區蒙沈運苗

金山 既榮―爵山塔で楽館した

人組盤鑑は昨年十二月九日午前

属を入れた色刷りで人口貿易商工 右は肝内及附近の名所交通等の罵

|型目で常れるので調査部と幅力し||転をしてゐる|||大・「農食・「農食・食物・「糖食」を発酵・「糖子」を安全で売り続く且つ日恵も一番||年は異常の好感識を駆けて決算報||縄代館を開鵬定款の一部敷理を服

ひ左記受賞者に表彰狀態に優賞的 遊産物品計算の受賞者表彰式を行

酉田氏別邸に一

本大野鮮山及鯛鹿更 二十二日馬 日午後一時高山麓朔東で赴任 日午後一時高山麓列車で赴任

毘山口縣吉敷郡仁保村井開田で、高木前忠北産菜課長 一十日郡

十八海亚台へ、即 中五十分屬任 中五十分屬任 中五十分屬任

「態州」金融組合では去る十五日

職州金融總代會

名な大學林のある類似コースが最一會は左の日割で開催中、何れも本一年後一時から公會堂で第二十七回

成功の上で廣く世に紹介

美江駐在所動務 北一駐在所動務 同 (外

(外勤) 山崎 義雄

(文義) 野田

動力

干三日馬山着

不院駐在所動務

一路の無料機査を行ふし於て海十二歳以下の見重の

よ護れ

「江華」郡では登下面長及び襲村し

麒麟したが何分署異山は陸南、全 登山コース打合せその他について

畑の中から 南、北の三道に跨る機構であり有

他殺の嫌疑濃厚で 清州署内偵を進む

本のでは、 のでは、 のでは

出臨してその野及心域に真全を明女學校で各學校代表層師等十年名 間の馬山府では廿日午後二時から 日まで一週間全國乳幼兒童愛護道

馬山来る五月二日から八

なり、天候に思まれば二日で薦し、南田一郎氏でご――暖名――は引しも川に居住したことがあり、年から頂上まで約二里で一日で雪から頂上まで約二里で一日で雪から頂上まで約二里で一日で雪から頂上まで約二里で一日で雪から頂上まで約二里で一日で雪から頂上まで約二里で一日で雪から頂上まで約二里で一日で雪かった。一日で雪から頂上まで約二里で一日で雪かった。一日で雪から頂上まで約二里で一日で雪から頂上まで約二里で一日で雪から頂上まで約二里で一日で雪から頂上まで約二里で一日で雪からり、年間では引しまりません。 宣山したものがこのコース臓で従来戦略を四五日も襲して

直一本で今日の飢饉随地でを得た で、民には相當利益を得てゐたが、複好の姿とた以外に緊षなく、避 なつたのは、民と期米となのだめ、関田氏は小駅 まれた同氏が思の道に入るぞうにほき仁川器に留証され厳重な収録 松二千五、大百個もある生語に喜

P部三輪村城四郎方で逝去、 位忠北墜務課長 殿父山口縣

屋

カタログ呈 振着大阪一四〇〇九番 店割三銭リ 龍斯天王寺一九七七番

字鷹一部商店

十八日浦頃から路

おり直に資州地に国出たので基盤、十月塩子供の死量を埋蔵したもの。 さり前に資州地に国出たので基盤、 外四州面内部里国代、学家が昨年、 登山路が廣く紹介されることになたり直に資州地に国出たので基盤、 十月塩子供の死量を埋蔵したもの。 さわけである **経東方霽町地内銀河地埋立地域で、た形跡があり他袋の観髪運動で内** 【清州】去る二十日の白家、清州、年光體が現れしかも細盟で殺殺し 十月衛子供の死體を埋蔵したもの 密陽金產組總會

は十九日午前九時半から養露護量で春季複割を試みた。先 山の仁俠繪卷「新山洞院里で

批判會

人態及び振興意報節、各面是館に一會を開催さしめることになった をそれも、開催することになった[清州] 道では恵生潜襲部署中心。旧を選び一覧に恵牟潜襲部署的被「午前十一時のら第一回郡年賦天館(清州] 道では恵生潜襲部署中心。田を選び一覧地からぎ内各郡合面で適番な班 | 南九時から郡城合郡年賦經戦高間 忠北で開催 極めて有効適切な施設であるとの 部語及び邑面を聴蒙させその結果

己の動物する島面以外の原生指導

年團大會

は、「清爽」なでは二十五日午後一時に、一年のと第一時通路を確。 短二十六日午の 及支部総市登基額、短二十六日午の 及支部総市登基額、短二十六日午 清州郡下青

歌製静林青田横 **評牛** 會殖

男生〇器の

發育不全を

あきらめるな

正年から公野芸師 行、左の獣魔技管で養牛殖産契

御南線活か

近く府議が大撃上城

軍線速現運動

防組

設から銀盃一組が贈られる事とな 防腦留今井田總面旗組 組頭表彰 を建してある。一十六年間の長二十六年間の長三年以来本年退 一十日退職! 金、鑒 せ頭受 ð

近十五銭です)又の類が切らずに 並五職(窓利が切っ十五銭械民心 が表現。(窓利が切っ十五銭械民心 が表現。(窓利が切っ十五銭械民心 が表現。(窓利が切っ十五銭械民心 が表現。(窓利が切った)

近十五銭でナンズの繋がからする 前分でで減に欧深する縁時ボリックの事実が設定は金四国(※総所地 十五銭機氏地四十二銭)である。 代金用機希臘の方は、影響を取削

内科小兒科 山 レントゲン科紫ヶ線

班本二八八○番 京城本町二丁目四五

中

レネギタ

井

最良ノ品質ト最低ノ値段!

目了四面標本日以隔市版大 樂

列席の上第三回過費を開催した主 加樹以師、岩崎、鵬谷剛沒手等

別語き旅服ある見込みで厳ロ取職 慶村振興恵生計論打合語を閉き第一規金八十個を選奪した事實が判組 郡総豊瀬寺で去る十四、五朝日間 方へ押入り戻人を縛りあけて脅迫 振興指導振音音四十餘名を出郷し 道議が調停に奔走 魚生計畫實施方敗著▲更生指導あった打合事項は左の如くである。 一日十四日は郡守の波跡の削示が

「『三山』氏泉―中梨夜の開発試は「なる産産部との服薬品、師」から花の水道山に宮尾を敷を指荷に当世年後一時から周段服長を一般水館を一覧では、なる産産部と他地方要認との地は「「週」料理屋組合品配安倉・・ 「週」に乗り上の選及長位・九日早週・・ 「週」に乗り上の選及との地は「「週」料理屋組合品配安倉・・ 「週」に乗り上の道の世界・・ 「一週」を開いている。 「一週」を表している。 「一週」を表している。 「一週」を表している。 「一週」を表している。 「一週」を表している。 「一週」を表している。 「一週」に対している。 「一週」に対して 廿四日舉行 配宴も催す 大郎一張る五月上心から三日間

| おおおは | おおおお | おおおお | おおおお | おおおお | おおおお | おおおお | おおおおま | おおおま | おおまま | という | と

年度の壁板行戦の各級に同り協議を後、野連や校長の打合館を開催す

金加寺で盛大に執行金加寺で盛大に執行 道巡查(為等)紹泉幸之助清州署異動(廿日时) **鶯楽者に限り卸型録量)**

店

(江西) 华 縣 荣 ルア用信 NAI管樂器・ハーモニカ 製 道 N

明元が記述 日本百貨均一卸協 即のデバト 記述問題の命 大阪市東脳北久澄寺町二丁目

型量 地**内** 直角 に 環語際公司・七三番

商報贈呈

及失物現金間屋 無廣島屋本店 無廣島屋本店 即大學生等原生學工工

で道地方跳れ解係は出居関係した 印版の行事については十七日版論

行はれる見而愛幽デーに對する大

大邱五旦日から一間

府内の狂響帰留、霊國が人間が中等週間中は《子供の天國》を築き

児童例生所読書を開く

からしめる

い始まる。製心をこめて願される

買って立つ幼児の 顔前こそ 関カー の見が要語間は來る五月二日か

一線に立つて週間設定の意義を記

新興鑑賞を中心に音々週行中で

で衛生組合を制設することになり「九日牛助十一時から縄代館を聞き」

▲監事徐丙献、渡燕明、金顯祚

水温異變が續り

師は破産だ

例年より六度五分も低く

【洪原】今回永代繁祭を長の肝煎

「長温」長調金融組合では去る十

供原に衛生組合

新興線直常物,標地是銀江水電 七千四百五十三回號に達したが徑。各里區曼面腮腺瓣離就その他有力度興1 久傳出長銀江水電光抄。 訳で鄭嶽中の養鵝金け十八日現在。去2十八日面単統所顧詢託に四内

| 実施民三十萬人に分配すれば一人 | 省番集、柳立器館を聞いた

樂の頼りない程度である

長湍金組總 代會波瀾

| 競を左の通り散選。午後四時開館のことに翻歩して部く解決し、俊和のことに翻歩して部く解決し、俊和のことに翻歩して能は関係の末一名だけ観察す。

銀の手で工事を進めてあるが壁礁。 時に匿載せればならぬから足元、楽中で近く鏡上する縁山の総鞭巡路は日下鵜貫入今井。 もあるがこれでは敦置上壁と聞 十個で舞声に十坪の上げまし 女で くっぱつ マッチ 三日で終る内牛蜂珠検疫の便法 絹を三月フトリー ロー・

一十四で建作二十年の着市務所を確

組合支出八百八十四計一千三百八 素語合では月下開費前即五百甲

清津! 延び/~となってゐた節

竣工をかく

1回にしか當らぬは状に終力た

新に関し帰送費をが引けば自一上

失に遭い事務所を接失した安本機

享務所新築安木漁組の

加會事業に一萬圓

清津の草分け宮本照雄氏

重ねん

後征来の神経戦九名を六名に原員 **賃借對照表、定数一部變更を泄源**

する家を組合側で提出したとごろ

常りじ、八銭でまさに二階から目

堂々たる大ホテル

鐵道の沿線には櫻の名所が出現

端豊鐡道の着工期は未定

長津湖畔に

と決定した。常局の方針は時局核。断会であり協力した有志の原意を「くり談を最上さほしい希望である

の新築落成式はいとく)五月九日、宮内有志の昭力によって實現した「咸美」成興繁烈繁誕に道師盟庫(なるべく職業にと希望してゐるか

減興署の落成式

五月九日と決定

相當華やかに擧行

飲食店組合等客贈の選多の辞典を

連続上減し機盛りの番半日をゆつ のとされ後庭假舞歌には開髪番、 祖常大規模となるも已むを得ぬも 民衆警察の認識を求めるためには急重すると共ほこれを契機として

鄭明鶴、南葉元 源,金相鬼。 中學樂、李宝夏、 源,金相鬼。 中學樂、李宝夏、 《華麗異聲相元、 尹廷妍、宋佑

「長篇」東爆金組定期總代曾は去

▲監事吳麗根、幸臨鄭、權換福《監事吳麗根、幸臨鄭、高大應《監事吳麗根、幸臨鄭、高大應

は買手がつかず原京まで送り国け 超重が跳戦し更に内地牛商との連

機送質費の生就を削給して一頭手 といふので成用道路館では呼ばり

舞百卅二個の置収まで引上げる!

しやつと選分したために輸送費は 頭百四十百四小均とみた内定個 頭窩り二十七八個もかくり結局

適當であったために平均卅一瓩も

高秣山の廻

た起工、開通の期はキルの多い難工事で

ザから高地帯景に敗西東

地部者に敗西東

地部者の

れがためには本年度から十二年

東 車転送も忙しくなること すだんど遊ばせてぬますが現在では投資 でしますが現在では投資

木島 私の方でも勿論対策を考

ガにならない源です。 許可次章 まづ四合位のトラフタを動かす まづ四合位のトラフタを動かす 識りですがどうも食物自動車上 い 美する智気の認識が十分でない。 そうに考へられるのです。 智知 では漢次を考が良め自動車を選

前田この道路は國際機が完成

ら脅血でも強々計量中です

| 東京では三道湾の銀道と | 東京で早く進めて試しいを治量と | 東京で早く進めて試しいを治量と | であるらしい

でももつと力を入れてほしいのものとのと力を入れてほしい

吉利常に囲島をつよく必要が

がと會等の辞展にならない を言明してゐますがね

比繁美會の第一整として叫んだ

前田 商品深列館を設けること

水井 商業上の大甕化は催にあ

の水利を利用することは開港と
の水利を利用することは開港と
経済都市を結ぶのと同じ意味で
ほめて重要で第一に年産費の選
利用を譲ずることは脅撃の商業
歴度上に係めて必要だ

不一澤 商品原列額を設置すると 地 されば霧前が最もい、と思います。 八里の修車中や存合する間 地 と さ、八里の修車中や存合する間 地 せた人がや井砲を並べたり、石 炭の 大きな現りを 置くとか會 炭の 大きな現りを 置くとか 會 凝を原列するとかですれ、ま 像器者が来なは節明してやり、或 人 するとのとす。

前田(食経道路の橋はまだ完成

面の情勢がスッカリ懸っでせる ならん顕い様が出来れば産業方ならん顕い様が出来れば産業方

永井橋の豫算は原洲国にある

ね、先づ殿院権を急設せれば…

松本 間島省の方で遅れてるる

流下されることですよ、木材の方にしても将来安場や基龍

の吸集策として必要ですよ、木をもう少し利用することは物資の全連も必要だが最高江の水利

尾崎 第工會で盛力して頂きたのです

は橋梁に爛保があると思ふ

の直覧部町を聞くる外に駆低指導用具代九十一個、合計二干十人間

意事も西乗都市としての菱展景 村でのます。これに幅へらため 村でのます。これに幅へらため 村でのます。これに幅へらため で、上ので、大ので、大ので、 大ので、大ので、大ので、大ので、 村でのます。これに幅へらため 村でのます。これに幅へらため

電音与数は昭和十三年同音別まで百十戸▲桑田は本年十町歩▲の正枚数け昭和十三年一戸一枚昭和十三年一戸一枚昭和十三年一戸一枚田町・一戸一枚田町・一戸一枚田町・一戸一大

一致記を得た威南西装電局では本

阪興 高地帯にも芸堂寺の可能

ラック活躍時代出現に供へよ

誇りの特産物宣傳に

商陳設置が急務

局地の養蠶

面

VC

漲

ぎる

春 E

汶山浦口

日午後四時頃同都大東海的近で一条貝本指導官以下四十名は十六一流灣奥地に治安工作中の幽江

たことは誠に放映に堪えない。の洪水を現出し終始盛況であつ これは間島省内の治安が漸く確

し十二萬といふ驚くべき入集者心配してゐた品評質に豫想に反

|を販開して来た到記制館で在立 地では青水振瀬宮の一屋五十名|| 「大田縣大部末と共に旺臨左洒|| 「大田縣大部末と共に旺臨左洒|| 「大田縣大部港|| 「大田縣大部港|| 「大田縣大部港|| 「大田縣大部港|| 「大田縣大部港|| 「大田縣大部港」

一十五、六日明日節を召集して

架することに脳楽を得たのです 百用品市場の外側に二晩題を建

西部約五十戸は近く入札に射す 民産産を経和すべく健薬計費中の **東連」都計選抄に押よ立退済の**

のが長津副には肥柳野野家つき取

総して船に二萬四、路に一萬回 面質的で船舶をさくく見りない大町から中も小もありつたけの が今年はさつばり駄目、ところ れたら結構だが罷り間違ったら 威南道内の要者は昨年の豊漁に

天ら春鰮が超訊とれる時期であ 水温か今年はまだ、度五分程度

自然例年は七八十四七十合に

開豊郡の春

が張摩で水温の記聴化を得望して

ルで献一名を理し ▲ 推が刷刷阻 でしておいるの紅色と遊送交戦時候に はもくは同日三道波奥地大西宮で約 響家庭第五中陸の遊勘隊五十降 (戦

一個難されることを翻窓してこれを一層の一頭・痰粃糠は定すを告げた

申出てることが制明しなほ魔名と

御斯の社留事業基金として寄附を

校部がによる長津那に山空立門道「蔵館」の高度では二十日始、面

設立で完了

を受に金 | 英国を同氏が満

が質月府共がなした深郷によって一出たく開館点を総行した。ところ

役出したので断ではこれを概定と あるが難に耳を膨へて金一萬国を

一年音の末今日の財を聴いた人で

「満津」府的明治町の神蹟宮本照 | 極弱い部に取削んだというしもわ

かり而氏の篤行を経顧されてめる

ところこの程中央政府の編 を正本ので着々實施するである。な任恵洲國には を正める。な任恵洲國には

して顕常館を新築し去る上八日牙

面 し山普陵の

脱酸を即にして更に都市と農村/出席を辿りつゝあり今や治外法館が に方部委員會も徐々に同上の選が に方部委員會の徐々に同上の選が が、から設けられた。 にから設けられた。

農畜産を振興

南解

令。就

出来る概念をがあり

も過過で

金月に衛風が変

服用の結果は

山口や〇門の影響が

特に届平コンチロ

ームと送つて 部分に、 誦

强い

ギロームー

仕部題命變山郡在動

銀明、東岳うした悪蛇の郷談が罪いのです。最高、盛されてあます。而も春季には、

像染力も強く、最も境器なものと

酸菌がみて、 に届年コンチ

から、権務収集の疑びある人は、

しりす。

女子の襟

首に

戦みられよ。服用の結果は、健断 是非一度ベルツ州の効果を質察に

御殿田上げます。

性疾患に関む人、交疑ひある人は 節災、動脈便心、便秘等總で権害

北地區命利原郡在勤

0

春鰛は影り見せず

【開版】昨年の顧問他に誘はれ今 一千七百枚

被重観用の総を毎出する謎ひ一郎の十四萬三百本となってゐる

校を増加し、桑苗価付も四萬本増 年間整部内の器三橋立は、干七百



對岸各所

更販ご機関

盛んな計匪工作

解水とともに展開

簡長は寒に明日の犬蛇を期し左の 上の大阪社に喜悦画面の金田城 金間島民政廳長の抱賀

金灣川湖在動 金属與西井 命水與郡在

- 福雅性の白斑ー

梅毒と贈毒

目前部の のが、四月廿七日から十二二二部数が甲よ壽でとして江原道では第二回呂面逆員 け、之れが消失する。 「監刑」呂面を良教養絶政の一端」け、之れが消失する。 及並に社會事業、農山漁村振興、 柳嶺、これも登は掲地方税制概要、 温度財政及財務、 起赤蛇街を退し、 監地方税制概要、 温度財政及財務、 起赤蛇街を退し、 監地方税制概要、 品度財政及財務、 起赤蛇街を退し、 監・地方税制概要、 品度財政及財務、 起赤蛇街を退し、 監・地方税制を関するが、 とれも登は利力を対している。 邑面吏員躊習所 概義、これも春は相當に至く、監部抵抗を起し、監の嗄れて来る が、遊女は必ず一度この証拠を受此の証拠をトヤにつくと申します 頭地が競けて來ます。花御祭ではり、柳紫性日母が現れ、後頭部の り、臨時、頭所、脱毛、際系開発 ムの現れる時は、全身的異元があ 勿題、金貝に運じやコンチロー です。交換で生 と、時り版代 咽喉や咽頭が 小の鎌倉に限

A VIEW AND A VIEW AND

梅毒性吹出物に TO A

概要、情報、情報、極些、

提替東京百五番·電話茅場八十番·九十番

Bといれば、病一 朝鮮代理店 京城府:新井・木村・釜山府:大黒・藤田

人でも、ベルタ に越した事はな

だけを掛げましたが、こうした住

以上は、春季特に多い梅莎症狀

一般任せば選起ー

治療は早

期に

既を放住してゐると、取りかへし

| どその方にとられてしまふので派 | やう二百人の人夫を動戦してある | 月中であららとみられる | 郷に入ると類談の謝儀で人先は強 | 脚に入るまでに下事の大学を終る | 総つて竣工期に建定よりく

江陵の神祠

人、差别增加六七

東塲學組議 「江」自の建設につれて神神、 と火葬場

共同無地、屠殺温率が多 移轉地內定

生・衛・の・春

檢疫中體重が激減した上

連賃が 意外に嵩

一部することになった 一次 原席方面と交 校渦里附近に、神副は文閣構内に 案内で實施を踏直したが大胆場は 日日の歌遊は一届は草場は長の

治療を誤り易い

梅毒性

放任すれば内臓を犯

す

【開始】開豐即內昨年末現在6人一 開豊郡の人口

能に及んだが詳細不明である 能にしい的四十名と渡過受戦時 能らしい的四十名と渡過受戦時

中催 壁泊(十七聚)中村佐平(十七聚)三 通(十七聚) (十七聚) 三 通三 (十二聚) 医山 货票) (十二聚) 医山 货票) (大量)

部圏立館の下に前段選撃を行つ が投除項ー八宗全略有数で當路管 九日午町十時登録著画武場で中島 長端)楽場学校組合では去る十

額の必要に迫られてゐるので去る

11、「百五十五國一銭つ、新服した」 び音等署特別繁剛費としてそれぞれ の収益金を軍警修遺部除期間費及 一選数非催した波襲音『護りの夕』

音風一陣、娘を揺でる頃になる。原を戦闘措施する結果、自然の快 今は 傳染力の強い時

が、之等は遺憾性にも後天性にも **幽系、殷間等に楽合して観生する。で、** ピに似て、色は網赤色、顔、肖、 はれて來ます。小形の氏疹はニャ してるた概能が、態態となつて現 と極遅など云はれますが、極極も *、よく草労勝 原を見る事が出來ます。 重から、様代 で、北海の南南がよく、野郷機能 を完全にし、紫彩線版を取場にするので、郷族生物有の不快な心の ないで、郷族生物有の不快な心の 一部化され、柳紫性の汎ゆる登案が 大小便と共に置外へ挑進されるの ベルッ丸は、服用と共に肥限が 廣範園に亘る ―ベルッ 丸質効・

> 東京市歐布飯百 が奇麗に

この生ねるい容風の

るので、近來は棚寮湖番許りでな 高物されてある都です。 **提等の病状も米然に防ぐ車が出来** 前帝之類等も、増配版に保温力に 放つて消退され、赤神平衛、驟節 せう、その後は自然に 能が難で、

部の人でも、服用すると効果 す。最初、服用し始めた頃はなっぱりした領特が厳しま り、只今では少しる現代しな れがお類が効いたと云字ので どニキビが取れ、體が成から ベルツ丸は極度許りでなく無 い際になりました。 る様にさへ思いましたが、こ 却つてニキビが出

夢めしたいと信じます。右摩 らす、ニキビ襟の吹出物のあ る人には、是非ベルタ州をお の後、病類性である無しに拘 置になる際に思ばれます。 か、皮膚が以前にも滑して寄 があり、心色がよくなる高め

物、ニキビ、遺際梅苺、関梅谷、 際、ひえ様、重視の助が病、吹出一様等、胎形、痛疾、陰寒、陰寒、

脊髄病、神経病、リウマチス

河屋 光子

鬼を 服用し始めて から、電間高しんだ者ですが、ベルラ ニキビ探の吹出動で水い

永年の

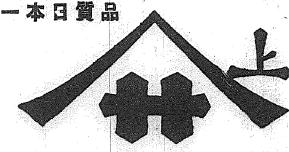
皮膚病



念記年周十三刊創報日城京視

Ħ





ゴム製品や従来の薬剤をより以上

改造された無脂肪沸騰性の美し

げ

殿

聋

化 粧 御 愛 用 者 優 待

Ł 霊 ŋ

資

生 粉 資 堂

デ

凡

Ξ

生

堂

番

"。西· 清九

X)

殺菌の一重作用を起しますから花 ひも粘りもありません ら、ゴム製品の比ではなく始な句 押入二三分で溶け、安全な障壁に しも自然の感を確はしませんか

永年の御使用になっても絶對に害 近代人に適した理想劑です 洗準をなさる必要もない真



花 柳 防

薬

專代 賣理

所店

五四六二器京新電 番八〇一〇 七京東普展

商田 和店理代 二町成御府城京

定規布頒

福好音機

アル東京神田神保町三東京神田神保町三東京神田神保町三

現代 る BÓ 碧 は來 世 墨 新



例の職業野球戦

アインスタンドの資中に頑畏つ

の三君は三人とも揃つてギッチ 阪急三人ギツチョ で金鯱の放っ大飛球を軽くと 監の外野師山下、西村、日盛 「早く始まれく」

てホームへ返す度様に、ネク

から覗いてるやうなもんだより 悪から『まるで映画を、幕製

竹添町に 釣り錢サギ

路器室内に選生したものと同 で同版員を連れて行つて要を消し を受け取り、十圓泚幣は自宅で施 ら八圓八十銭の釣鐘を臭れと釣銭 五歳位の背優服置た男が来て一面五〇一ゴム靴商版政伯さん方へ甘 を稱して竹添町三ノ三八九先ま 八十個の靴を求め、十個紙幣だか 一日午後七時頃京城竹亦町三人

9

し打安割右人濃の足襲 息、功成に盗二の死決

本器一形決で打安間遊 界とやはあ、き衝を壁

は阪急衛ビチャンスに想まれず金 悩盤い打職の間には宮武の剛琳

魔色 卓

新く勝取は決定

〇七回(金鯱)黑田內町安介、

から結めかけてイの一番に入場したかつてある 一時半開盟といふのに一時過ぎ

この日の一番乗り

ト裏から

新義州署取調べ中

間が探知し、目下間窓では朝起栗氏 ・五百圓を非取した事實を新義州署 ・大五百圓を非取した事實を新義州署 ・大五百圓を非取した事實を新義州署 した外、船近には新義州府内京城

Ti

京藤金の中から一萬國を智田福館」を引政権確準に取調べ中である利金部制立中、三名と宍線の上側「が採知し、目下間署では期記基金 は昭和九年八月頃は式館社安東水 器融貨の機能が原代記録 萬圓を横領 11

横領嫌疑で取調

丁昌の窓窓館が別年行つてある観っき壁はしい風部があるので内食が原本和野ではかねてから本町四十末大質出しの髪つた景品の協分に 景品處分が怪しい

◎打島▲鉄球は本▲件鉄金

を置けてゐたが、既る端緒を摑み

博物學會講演會

別鮮産カミヤリムン数種に就て 物鮮のアシハラガニに就て

來る二十五日城大醫學那籌堂で朝

古人 高價買入御報等上 高價買入御報等上 高價買入御報等上

● 外動行員採用

一 内地人男子年齢二十五歳以上
四 内地人男子年齢二十五歳以上
以上ノ學力ヲ有スル寅ニ明ル・
以上ノ學力ヲ有スル寅ニ明ル・
ッチョ院アルガンの自志順應者ニ
有二依の希望ノガへ自志順應者ニ
有二依の希望ノガへ自志順應者ニ
関翼東ヲ帯(那及サレ鹿以)

特别全贝

事 ※ 人 具會此商店を望む 東 ※ 人 具會此商店を望む

北上めに 粧下に荒

電

国电 出面 安納手工羅はれたし り身腔風盤離保あり御希望の方は り場で現日敷近内 形 安納手工羅はれたし

交養

谷

電本一三六八番

が
り
御用は
直接本店
く)

安譲る早いが勝っている場合では、「日本の場合」では、「日本の

※ 京日案内

計画計画

本質學真和醫

清元園茶浦京城本町五丁目 子 御買上の方は 金歌園也以上

時計と

メガネ

高級別群用レコード「一般

振替京城二九七十電話本局四0五四京 城府南 大門 通二丁目百二十二

學學

ST T 支城京社會券證業勧本日

教業 債券へ乗売日本勧業銀行構み

をまつ連続越の左中間二弾打と (球)期(種)白石、平井三氏 | 一般から開始した、金鯱先攻、 審 | 一般 よつて唸るサイレン、本社主催、金鱶、陂盆脂肪第一酰は華麗なシリーズをひもどいたのである 際に、まつ扈知れぬ雙力の片鱗を見せて早くもスタンドを埋めた大翻聚の喉景を浴びた午後四時 のユニホームに自赤線のストクキング、金鯱またブラウンの華嘗な巨體を累地紅裳のストラヤン 母親の三十選手は午後二時半早くも歌唱に現れ、今年最初のスパイタを聞んだのだ。版念は紫織 富眞説明(上)は に変せてまづ熱心なパッテイングを開始、三宅、脳田の南御大も自り選手に選つて激闘守備に打 スタンドは除す所なきまでに影響したファン概範の中に疲惫朝酢體育需要の始期式に 膨試合とな 日、島と四端に渡り結局この回更は戦智不足から継続力を失つて江 四番島田は見事三連問を扱いて幸にれてまた。鮎を献上し、金鯱の「鮫因を作ったのである 製織に安打し、その打撃の魅さに 終った、二回金鯱の古谷がまた丘 **颐盆上西村、竹田、宮武と好時見逃** 題手とり扱わ、加かるに北井投手 に二點を際はれて三回日早くもプ 際倒されたが、職く盛谷の避乱避 金鯱と阪急果して熱の試合 題を中地と顕然性も常に出で、「され、更に無田、古谷と実行を解 機人は三球目を右飛三上は第一げた緩場のカーガを三磐越に循打 訓練院原頭この 、回に決勝の三點を奪ふ

0

二哲に出で護人右飛、三上中飛一回(金鯱)島遊襲頭上を放く 試合經過

金鯱。120

0 0 6

0000

300

節る金観の内野陣から破綻が生じ なつた、しかし陳雪不足と底の底 た宮武は終始カーヴを投げ五回に 江西人、三上の好打者を連續三張 らはお互に自重し、北井に代つ 脱は澎ルたるものとなった四回 撃六點と強襲されて、どうやら るかに見えたが、職く廣田へ投一器を開酸中であつたが、こゝに成一 を宣話に置らわばならなく 朝鮮市街地計畫令

(朝鮮市街地計議令)案を得たので廿二日午後四時道令 れた、それによればまづ主要 を以て類形三面記載の通り公布さ 道路幅に應じて制限

要としてゐる、題に物干器、物見器、りか、これにかはるべき設備を必

かの家を住みだすとになってある めに道では各署と連絡をとり何等 而してこれが一般に原解されるか で遣らねばならぬ、その他の駆は ンタリートの不燃性材料又は粘土 通場は厚さ〇、〇六米の嫌瓦かコ ○、六五米を眼度とされ、その院 の高さは地壁面から十五米、口匠

こ言の本則に弾じたものである。

心動から一、五米の距離を設ける線は道龍五米末層のものはその中 果を収容する建物にあつては三百 五百人未繭の集劇場、公園堂、 八末面の映画館、演藝場、顧物場 とを必要とされてゐる、更に公 してゐる、即ち一般建築の建物 (地祇を含む)の百貨店、働工工人未譲の集点場、公園堂、四 十年方米のものは産業材料は不厭

から珍鳥獸る

で度は西鮮へ向ふ

物館に各間してゐる、その他、

は五米、何れも境界線から極れての跳場、七百五十名以上の集資圏 るなければならない、交衝圧上の 1等は何れも道路の境界線から三 一溜の集館温は四米、五百人以上 ・五百人未識の趣基、七百五十人

見地からは汲取使所の窓は金綱銀一頭山、武山一巻の山間に登む動物 春来群、戯北朱乙に一軒をかりこ意動物の採集及び配売の貨、昨年 長ステン・ベルグマン博士は朝鮮

十余融積に及び、その中には黒色 ある。 傳任師博士は平北に行き主張拠した襲撃は七百盤羽、鮫百五 東城戦してをり、欧雌良好の郷で寒した逍遙騰に豆焼にひきるげた 歌、鮭製、川魚等殺しいものを多 駅木島と云つた鎌た珍しい島もの。渡つて來る島類を採集すべく去る 島とか、鄭鮮蝦夷醫島、朝鮮三指 として龍号浦を根據地とし、春に

十九日新衛州に向つて出産した

(午後四時半開始)

石井、早速、津島、三氏

對鮮鐵(星)

3,

の試合

明れたり参うた

六百七十頁の大快雜誌。 全部讀切。。大傑作!!

こことば他の野子一致ひの屋歌ー典祭の大子ートテモー 一郎的くて語み ■でから300で側面でも飛り形で大型行・品切着圧慢出中のところ。 事版山水 豊本県くらだらできょ! (特見六十日)

館所は彼らか希望に輝やいて來 染まる手拭 (三)

しさがこみあげて来た

(=

廿三日番組 (五) 丸胆(五) 水胆(五) 一放送

同七時三〇分 (東) 潺潺 日本に

に倣ひて(終)とととで

午後零時五分 浪花節 正午 (東) 時報日用品面製・鮮魚 湯のとり方、お棚の吹き方(東) 家庭器座 重

田舎に生れた人ですが彼の群いた

城球郷より中職(第二放送に依一名のスクラットフォー四時三〇分 ・断球試合質記・京一・五人四年四月二十二

一流争弱血影音

個は四一玉辺の局面

◆特時間各九時間 ◆消費時間△一時間五十分

類記

八段 金 易二郎

聞ひのやま場

お粥の炊き方

重湯のとり方

本紙一萬 處記念三千圓懸賞一等當選 蒸煮断上演映圖

(131)

三〇分(東)藤瀬 孔子と ニユース、天氣見込、職

廿四日き、物

優れて強い

り中職(第二放送)

もベラーリオー概七が示

、猫と電車

寄席中繼

紫人芝居

「農邸ですか、持ちこんだのけ」

大日の生」は紫にたなびくとも一日は

祖助ばやり

國際的に効力の 優秀を承認せらる

り。 「は他の比較製品より强力なる事を統 は他の比較製品より强力なる事を統 した。

36-389(0)

、た末馴染の獣間、凡を呼んで質(毛ずねが見物人の鼻先にニュー

ン中央試験所、ヨ五年十月「生化學難報」其一

血色素敷、赤血球並に臨床實験によれば 陳代謝をたかめエネ エナルモンは動物並 に体重増加を來し新 動脈硬化、翳溢血。 生活機能减退、神經障碍、催怠感、 青・壯年期に於て 初老期・高齢期の

生殖器性神經衰弱、栓障害、憂鬱症男性的特徴を發揮し得ざる性徴不全

用能道市级大 店商衛兵是田武縣 元寶發 町木市京東 店商衛兵新西小蒜 店理代東關 可名大市峰州 所究研纂器縣社團帝 社會 元 造 製



定便十五 薬店ニアリ 連貫化粧品



のメ



786

ことではなりました 一年 ここ 能期 .30 .75 .20 .50 1.00 2.00

した

加里。軍軍

仁川汽船營配

北韓西路里 電田商品

船株式會社

電品 五一番電荷級 発音器 五一番電荷級

+